



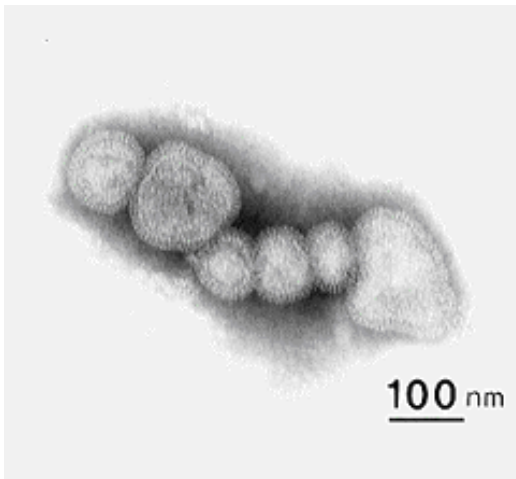
インフルエンザワクチン

今年もインフルエンザの季節になりました。今シーズンのワクチンは、これまでの 3 価 (A 型 2 種類、B 型 1 種類) から、B 型株が 1 種類追加され 4 価 (A 型 2 種類、B 型 2 種類) になります。

☆ インフルエンザとは

- ・ 突如として発生し、瞬く間に広がり、数ヶ月のうちに消えていく、咳と高熱の流行性疾患の記憶は、紀元前古代ギリシア時代の医師ヒポクラテスの時代からあったといわれています。周期的に流行が現れてくるところから、16 世紀のイタリアの占星術師たちはこれを星や寒気の影響 (influenza) によるものと考えていました。
- ・ 1918 年にスペイン風邪が流行しました。この頃は、まだ細菌感染症ではないかと考えられていました。
- ・ 1930 年代になり、電子顕微鏡ができてウイルスの存在が明らかになりました。
- ・ 1933 年にヒトのインフルエンザウイルスが初めて分離されました。ウイルス分離後はワクチン開発研究も進み、米国では 1940 年代に不活化ワクチンが実用化されました。日本で現在のようなワクチンが実用化されたのは 1972 年です。

< ↓ インフルエンザウイルス電子顕微鏡写真 >

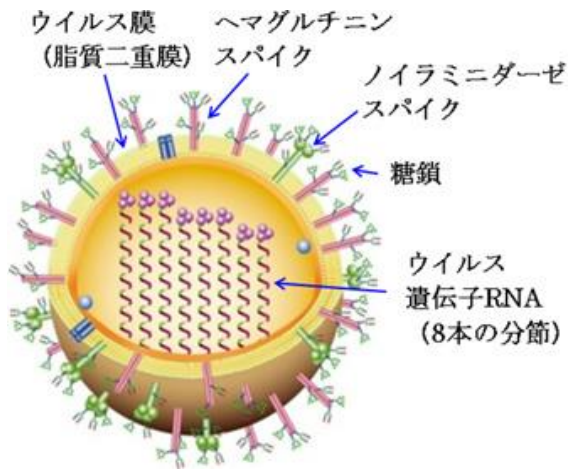


- ・ インフルエンザウイルスは抗原性の違いから A・B・C の 3 型に分けられ、このうち流行的な広がりをみせるのは A 型と B 型です。
- ・ A 型ウイルス粒子表面には赤血球凝集素 (HA) とノイラミニダーゼ (NA) という糖蛋白があります。HA には 16 の亜型が、NA には 9 つの亜型があります。これらは様々な組み合わせをして、ヒト以外にもブタやトリなど他の動物にも広く感染します。HA と NA は同一亜型内で、抗原性を毎年のように変化させるため、A 型インフルエンザは巧みにヒトの免疫機構から逃れ流行します。これを小変異又は連続抗原変異といいます。この小変異のため、以前に A 型インフ

ルエンザに感染し免疫がある人でも、別の A 型インフルエンザの感染を受けることとなります。ウイルスの抗原性に差があるほど感染を受けやすく、発症したときの症状も強くなります。また、A 型は数年から数 10 年単位で、突然別の亜型に取って代わることがあります。これを大変異又は不連続抗原変異といいます。いわゆる「新型」インフルエンザウイルスの登場です。人々は新たに出現したウイルスに対する抗体がないため、感染は拡大し地球規模での大流行 (パンデミック) となります。一方で、B 型は表面抗原の種類が単一です。そのためパンデミックを起こす可能性は低いといわれています。

☆ インフルエンザワクチン

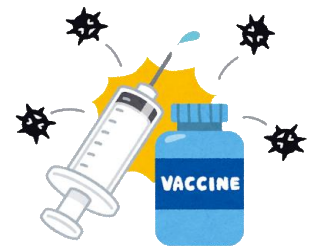
- ・ インフルエンザワクチンは、国立感染症研究所が調査したデータと WHO からの推奨を元に、ワクチンに含まれるウイルスが選定されます。



- ・ 今シーズンのワクチン株の内容は、①A / カリフォルニア / 7 / 2009 (X-179A) (H1N1) pdm09 : 以前「新型ブタインフルエンザ」といわれていた株、②A / スイス / 9715293 / 2013 (NIB-88) (H3N2) : 季節性 A 型、③B / プーケット / 3073 / 2013 (B / 山形系統) : 季節性 B 型、④B / テキサス / 2 / 2013 (B / ビクトリア系統) : 季節性 B 型の 4 種類です。

◀ ↑ A 型インフルエンザウイルスの模式図 (<http://www.isc.chubu.ac.jp/hsh/topics.html>) ▶

- ・ 現在、日本を含む多くの国で用いられているインフルエンザワクチンは、エーテルでウイルスを処理した不活化ワクチンです。生きたウイルスが入っていないので、妊婦さんでもワクチン接種は可能です。
- ・ **副作用** : 軽い副作用として、注射した部位が赤く腫れ痛みがでることが 10%程度、発熱など全身反応が 1%以下といわれています。死亡あるいは生涯にわたりハンディキャップとなる副反応の発生は、100 万接種あたり 1 件に満たない数です。残念ながらゼロではありませんが、他のワクチンに比べて、特にインフルエンザワクチンの安全性が低いということではありません。
- ・ **予防接種が勧められる方** : インフルエンザワクチンは、発病をほぼ確実に阻止するほどの効果は期待できませんが、高熱などの症状を軽くし、合併症による入院や死亡を減らすことができます。特に 65 歳以上の高齢者や基礎疾患（気管支喘息・慢性閉塞性肺疾患等の呼吸器疾患、慢性心不全、先天性心疾患等の循環器疾患、糖尿病、腎不全、免疫不全症、免疫抑制剤を使用している方など）を有する方、妊娠中の方はインフルエンザが重症化しやすいので、ワクチン接種による予防が勧められます。
- ・ **予防接種ができない方** : ワクチン製造に鶏卵が用いられるため、卵に重症アレルギーがある人には、ワクチン接種を行ってはいけないことになっています。
- ・ **予防接種後のよくある質問**
 - ① 注射部位はもんだほうがよいの? : ワクチン注射部位はもんではいけません。
 - ② 注射部位が腫れて痛みます。 : 腫れや痛みは数日で消えてきます。
 - ③ 注射した日はお風呂に入れるの? : お風呂に入るのは問題ありません。
 - ④ お酒は飲んでもいいの? : 飲酒はかまいません。



最近の疫学調査では、インフルエンザウイルスに感染しても発熱などの症状がでない方がいることも分かっています。「自分は健康だからワクチン接種は必要ない、ワクチン接種しなくても今まで 1 度もインフルエンザにかかったことはない」とお考えの方も、もしかするとご自分は感染しても症状がでないだけで、ご家族や職場の人、満員の通勤電車で近くにいた人にウイルスを広めているかもしれません。その中には、重症化のリスクが高い人もいるかもしれません。感染症の予防は「自分さえよければ」ではなく社会全体で取り組む必要があります。今シーズンは是非ワクチン接種をされることをお勧めします。

検査の予約やご相談は、Tel.03-3668-6806 へご連絡ください。



今後もニュースレターを発行し、皆様の健康管理に少しでも参考になればと思います。ぜひ皆様からのご意見、ご感想をお寄せください。今後もこのニュースレターやホームページ等を通じ、役立つ情報を発信してまいります。今後とも、よろしくお願いたします。

公益財団法人早期胃癌検診協会 事務局
Tel.03-3668-6803 / E-mail: mail@soiken.or.jp